

## スナヤツメ

学名	Lethenteron reissneri (Dybowski)		
目名	ヤツメウナギ目		
目名学名	PETROMYZONTIFORMES		
科名	ヤツメウナギ科		
科名学名	Petromyzontidae		
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： II (VU) (南方種)	水産庁： 希少種



## [選定理由]

県内では局所的な分布を示しており、また堰堤やダムを設置で平瀬と淵が分断された河川では生育場と産卵場との移動が困難になり、絶滅の危険性が高い。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 筑後川水系, 大分川水系
分布域	鹿児島県, 宮崎県を除く九州以北
世界的分布	沿海州, 中国北部, 朝鮮半島
生息環境	夏期水温が25℃以下の人為的汚染のない軟泥の堆積する淵と平瀬。
現状	河川改修工事などにより, 各生息地は激減している。
備考	

# ヤリタナゴ

学名	Tanakia lanceolata (Temminck and Schlegel)		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	コイ科		
科名学名	Cyprinidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：準(NT)	水産庁：



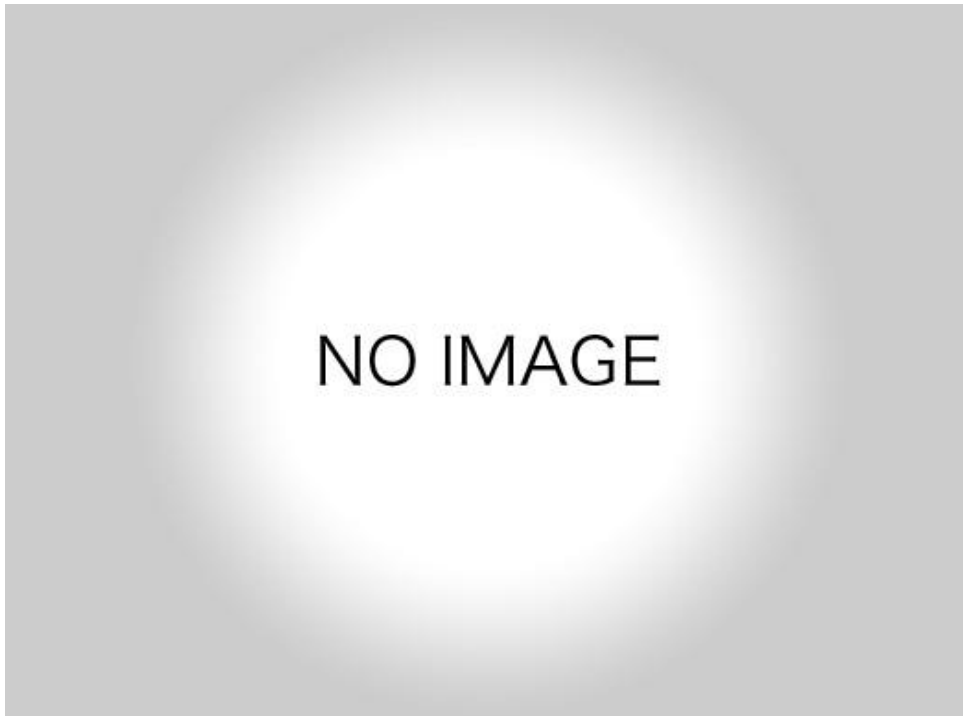
## [選定理由]

タナゴ類は生息条件として産卵母貝の存在が不可欠であるため、河川環境の変化の影響を受けやすい。本種は分布域の広い一般的なタナゴであるが、環境の変化によって急激に個体群が消滅する可能性が危惧される。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 筑後川水系, 大分川水系, 別府湾に注ぐ河川
分布域	北海道と南九州以南を除く各地
世界的分布	朝鮮半島西岸
生息環境	イシガイ科の二枚貝に産卵する。タナゴ類の中では流れを好む。
現状	筑後川水系では比較的良好な状態であるが、県北部域では生息地, 生息数とも減少している。
備考	日本産タナゴ類としては最も分布域が広い。

## セボシタビラ

学名	Acheilognathus tabira nakamurae Arai, Fujikawa and Nagata		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	コイ科		
科名学名	Cyprinidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：I A (CR)	水産庁：希少種

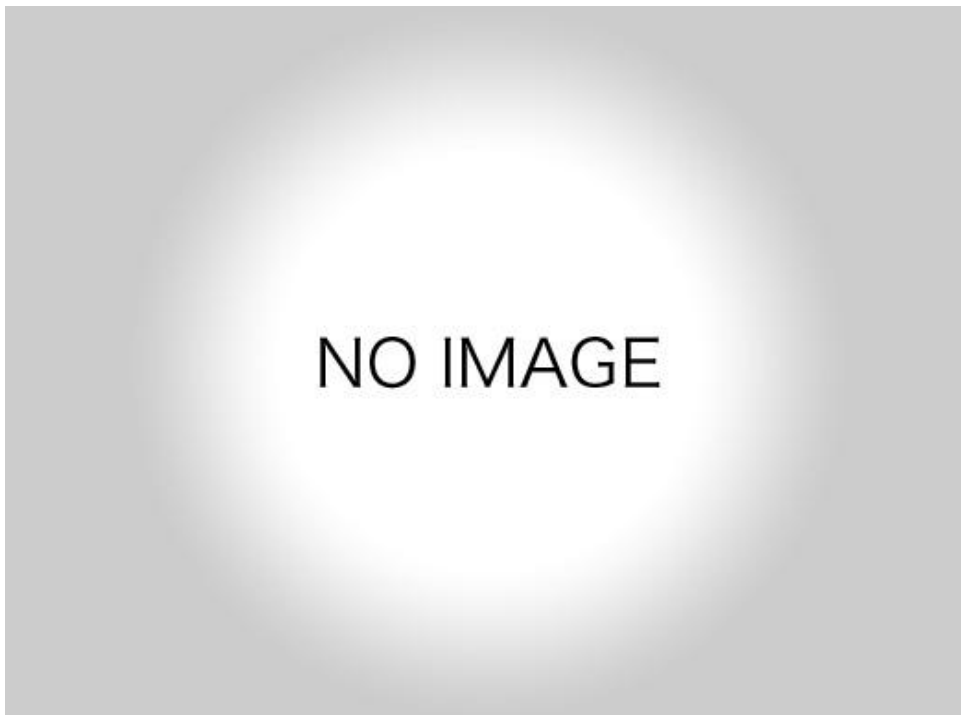


## [選定理由]

県内分布	(筑後川水系)
分布域	筑後川水系を中心とする九州北西部, 長崎県壱岐
世界的分布	
生息環境	淡水産二枚貝が生息する河川の下流の緩流域, それに続く用水。
現状	過去に生息が確認されているが, 近年は生息が確認できていない。
備考	

## ニッポンバラタナゴ

学名	Rhodeus ocellatus kurumeus Jordan and Thompson		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	コイ科		
科名学名	Cyprinidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：I A (CR)	水産庁：絶滅危惧種



## [選定理由]

県内分布	(筑後川水系)
分布域	濃尾平野, 琵琶湖・淀川水系, 京都盆地, 山陽地方, 四国北西部, 九州北部
世界的分布	
生息環境	淡水産二枚貝が生息する平野部の浅い池沼, 流れのない用水。
現 状	過去に生息が確認されているが, 近年は生息が確認できていない。
備 考	日本の固有亜種

# カゼトゲタナゴ

学名	Rhodeus atremius atremius Jordan and Thompson		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	コイ科		
科名学名	Cyprinidae		
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： I B (EN)	水産庁： 希少種



## [選定理由]

河川改修や圃場整備により生息地の消滅や生息域の分断縮小が急速に進行しているため、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	筑後川水系
分布域	北部九州に分布。 南限は熊本県八代市，北限は福岡県北九州市，東限は福岡県行橋市，西限は長崎県壱岐市。
世界的分布	
生息環境	イシガイ科の二枚貝に産卵する。同属のバラタナゴが泥底の緩流域に多くみられるのに対して，カゼトゲタナゴは比較的流れのある砂礫底の場所を好む。
現 状	本県では筑後川水系にのみみられ，生息地は局所的である。
備 考	天然分布でない個体を湯布院において確認した。 韓国に生息するR. notatusや，中国に生息するR. sinensisと同種とする説があるが精査が必要である。

## ヌマムツ

学名	Candidia sieboldi (Temminck and Schlegel)		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	コイ科		
科名学名	Cyprinidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし	水産庁：



## [選定理由]

平野部の宅地造成による貯水池の減少・河川改修工事・魚食性外来魚の移入などにより、個体数の減少が懸念される。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川
分布域	自然分布: 中部地方以西の本州, 四国の瀬戸内側, 九州北部 移植: 関東地方
世界的分布	
生息環境	河川の中・下流の緩流域や平野部の池沼。
現状	平野部での宅地造成が進み, 池沼が埋め立てられ, 生息地そのものが消失している。
備考	日本固有種

# カワヒガイ

学名	Sarcocheilichthys variegatus (Temminck and Schlegel)		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	コイ科		
科名学名	Cyprinidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：準 (NT)	水産庁：減少種



## 【選定理由】

県内では筑後川水系のみに生息し、個体密度が低く、産卵床である二枚貝の減少などの環境変化による個体数の減少が懸念される。

県内分布	筑後川水系
分布域	濃尾平野, 琵琶湖注入河川, 京都盆地, 山口県を除く山陽地方, 九州北西部, 長崎県壱岐
世界的分布	
生息環境	中流から下流域の流れがゆるやかな砂礫底。
現 状	筑後川本流での生息が確認されているが、その数は少ない。
備 考	日本固有種

## ツチフキ

学名	Abbottina rivularis (Basilewsky)		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	コイ科		
科名学名	Cyprinidae		
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： II (VU)	水産庁：



## [選定理由]

県内では筑後川水系のみに生息し、底質の悪化や河川環境の変化で急速に個体数が減少しており、絶滅の危険性が高い。

県内分布	筑後川水系
分布域	自然分布:濃尾平野, 近畿地方, 山陽地方, 九州北西部 移植:宮城県, 関東平野
世界的分布	中国北部, 朝鮮半島
生息環境	河川中流域の泥底。
現状	生息域である良好な泥質の減少で, 個体数・生息域とも減少していて, 生息確認が難しい。
備考	



# ヤマトシマドジョウ

学名	Cobitis matsubarae Okada and Ikeda		
目名	コイ目		
目名学名	CYPRINIFORMES		
科名	ドジョウ科		
科名学名	Cobitidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：Ⅱ (VU)	水産庁：



## 【選定理由】

本種は県内の各河川の中流域に散在しているが、その生息場所は用水路・畦・堤・農道などの舗装などによって奪われ、農薬汚染、水質汚染、河川改修工事時で良質な砂底域が消失することによる個体数減少が懸念されている。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 筑後川水系, 別府湾に注ぐ河川, 番匠川水系
分布域	山口県, 九州
世界的分布	
生息環境	河川の中流域の砂底。
現状	県内の一部を除くほとんどの各河川水系において本種の生息が確認されているが、いずれの生息地も個体数は減少傾向にある。
備考	

## スジシマドジョウ小型種九州型

学名 *Cobitis* sp. S Kyushu form

目名 コイ目

目名学名 CYPRINIFORMES

科名 ドジョウ科

科名学名 Cobitidae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： I B (EN) (九州型水産庁：



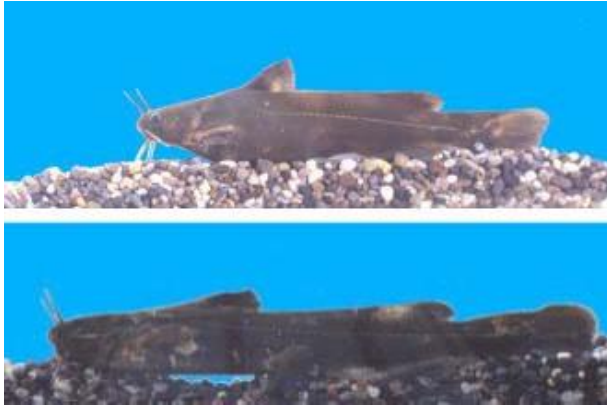
## [選定理由]

地方分化が著しく、九州産地方種族に分化している。本種の生息する圃場や農業用水路は整備と改修が進み、急減している。本種の生息域は限られ、絶滅の危険性が高い。

県内分布	筑後川水系
分布域	九州北西部
世界的分布	
生息環境	河川の中流域の砂底。
現状	有明海流入河川に生息することが知られているが、日田市の限られた地域で、ヤマトシマドジョウに混在する本種の生息が確認された。
備考	山国川水系、大分川水系にも生息情報があるが、精査が必要。

# アリアケギバチ

学名	Pseudobagrus aurantiacus Temminck and Schlegel		
目名	ナマズ目		
目名学名	SILURIFORMES		
科名	ギギ科		
科名学名	Bagridae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：準 (NT)	水産庁：減少種



## [選定理由]

1970年代までは筑後川水系各支流にも生息していたが、現在ではその本流だけで確認されている。河川改修による環境の悪化にも弱いため生息地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	筑後川水系
分布域	九州西部, 長崎県壱岐
世界的分布	
生息環境	自然度の高い河川の上・中流域。
現 状	近年周囲の環境改善により、個体数は回復傾向にあるが、1970年代と比較すると、生息地・個体数とも激減している。
備 考	日本固有種

## アカザ

学名	Liobagrus reinii Hilgendorf		
目名	ナマズ目		
目名学名	SILURIFORMES		
科名	アカザ科		
科名学名	Amblycipitidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：Ⅱ (VU)	水産庁：危急種(九州産)



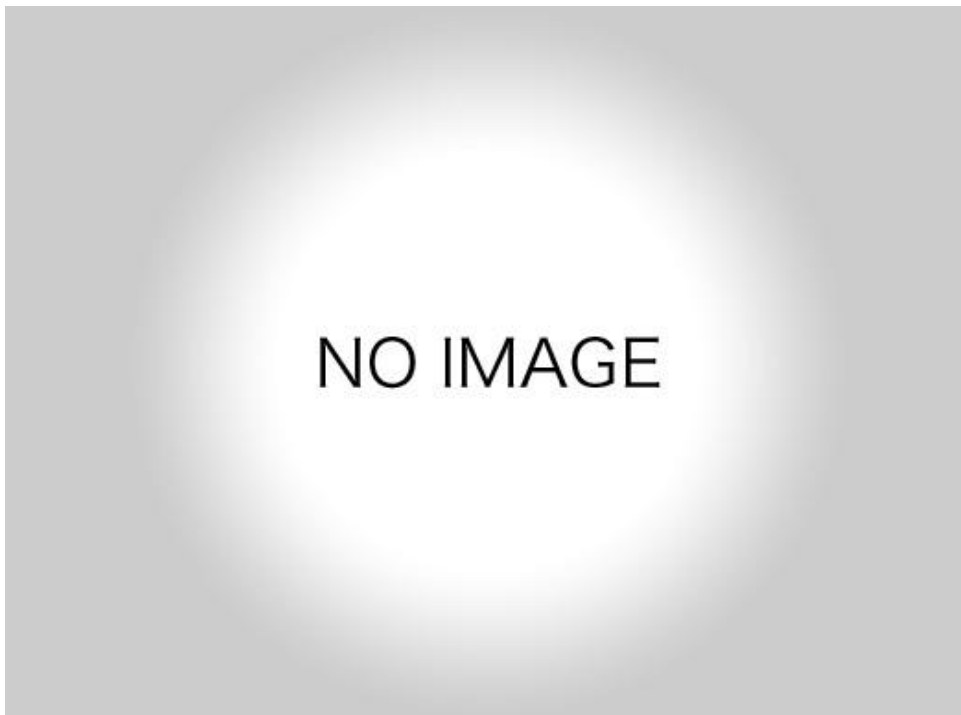
## [選定理由]

生息確認できた県内各河川内において、その分布は局所的である。河川護岸工事のため、流出した土砂などにより生息地および産卵場が埋められ、個体数の減少が危惧される。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 筑後川水系, 大分川水系, 別府湾に注ぐ河川
分布域	宮城県・秋田県以南の本州, 四国, 淡路島, 九州
世界的分布	
生息環境	比較的水の澄んだ河川の上・中流域の転石帯。
現状	1950年頃までは大分川水系以北のほとんどの河川で生息が確認されていた。過去に生息記録があった水系のうちの2水系において、近年、本種の生息が改めて確認された。
備考	日本固有種

## 降海型イトヨ

学名	Gasterosteus aculeatus(Linnaeus); anadromous form		
目名	トゲウオ目		
目名学名	GASTEROSTEIFORMES		
科名	トゲウオ科		
科名学名	Gasterosteidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：掲載なし	水産庁：

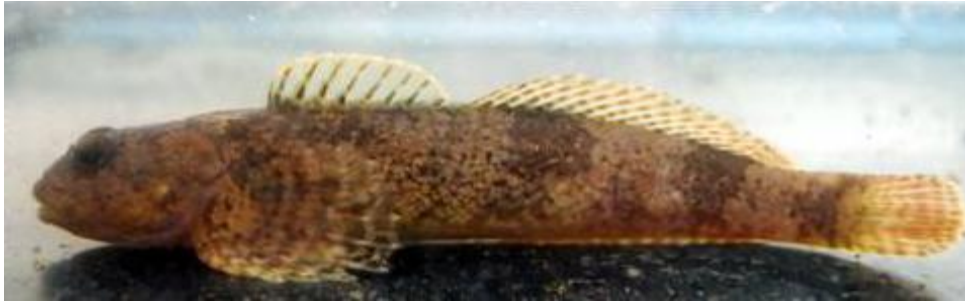


## [選定理由]

県内分布	(大分川水系, 大野川水系)
分布域	北海道, 利根川・島根県益田川以北の本州
世界的分布	ユーラシア, 北アメリカ
生息環境	海域の沿岸部, 内湾, 潮だまり。
現状	大分川水系と大野川水系では過去に生息が確認されていたが, 近年は生息が確認できていない。
備考	

# カジカ大卵型

学名	Cottus pollux Günther		
目名	カサゴ目		
目名学名	SCORPAENIFORMES		
科名	カジカ科		
科名学名	Cottidae		
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： 準 (NT)	水産庁：



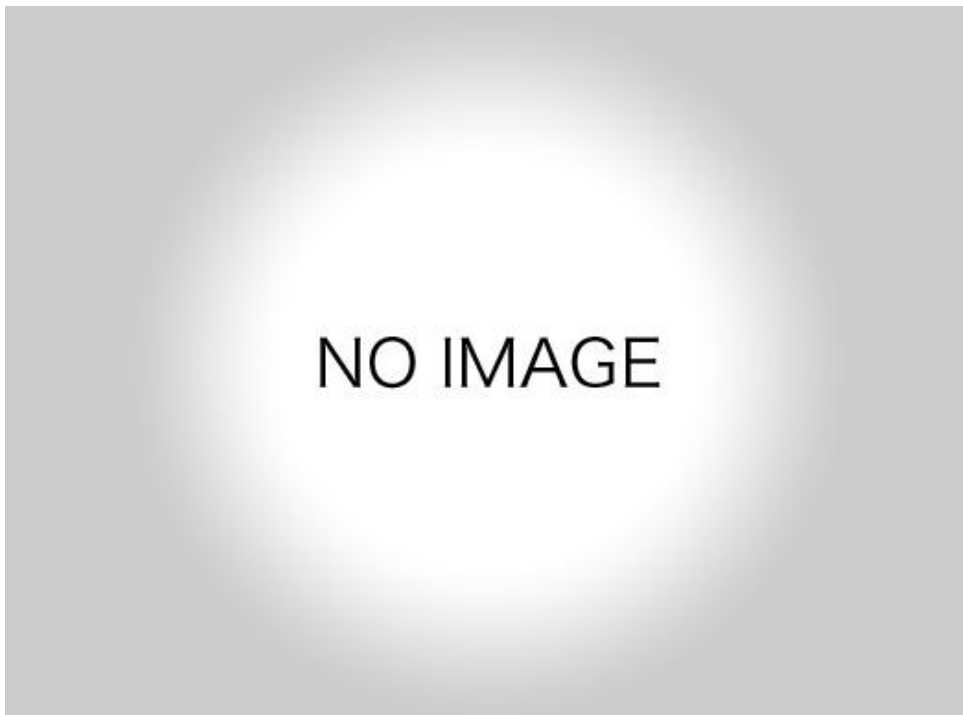
## [選定理由]

本県でも確認できる河川は一河川のみとなり、絶滅の危険性が大きい。

県内分布	筑後川水系
分布域	本州, 四国, 九州北西部
世界的分布	
生息環境	河川の上流域の石礫底。
現状	確認できるのは筑後川水系一支川のみであり、その支川における生息範囲も極めて狭い。
備考	北陸地方は健在であるのに対し、九州全県・山口・広島では全て絶滅または絶滅危惧 I 類に選定されている。

## カジカ小卵型

学名	Cottus reinii Hilgendorf		
目名	カサゴ目		
目名学名	SCORPAENIFORMES		
科名	カジカ科		
科名学名	Cottidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：I B (EN)	水産庁：

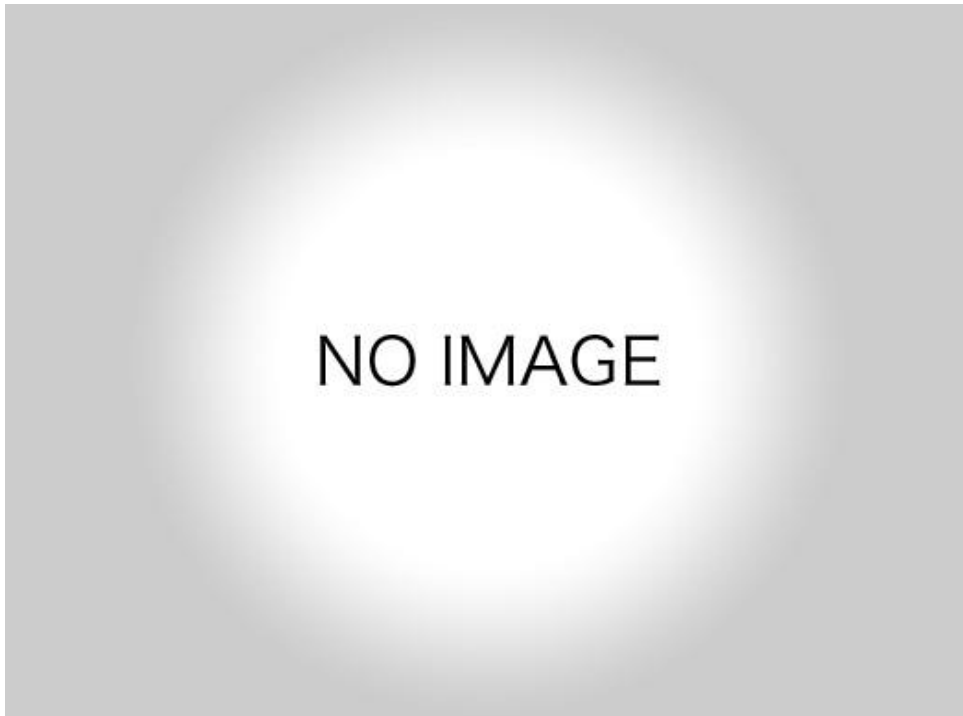


## [選定理由]

県内分布	(山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 大分川水系, 大野川水系, 別府湾に注ぐ河川)
分布域	北海道南部(日本海側), 本州, 四国, 九州北西部
世界的分布	
生息環境	河川の上流域の石礫底。
現 状	県下では現在ほとんど捕獲できない。
備 考	日本固有種

## アカメ

学名	Lates japonicus Katayama and Taki		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	アカメ科		
科名学名	Latidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：I B (EN)	水産庁：減少種



## [選定理由]

県内分布	別府湾, 佐伯湾
分布域	静岡県浜名湖から鹿児島県志布志湾に至る本州太平洋岸, 大阪湾, 種子島. 幼魚は高知県四万十川, 宮崎県大淀川に入る。
世界的分布	
生息環境	沿岸域, 幼魚は河口域の藻場。
現状	佐伯湾や番匠川河口域を中心に生息が確認されているが, 別府湾の記録もあり県内全体における分布状況など不明な点が多い。今後, 詳細かつ継続的な情報収集が必要と思われる。
備考	日本固有種



# オヤニラミ

学名	Coreoperca kawamebari (Temminck and Schlegel)		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ケツギョ科		
科名学名	Sinipercidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：Ⅱ (VU)	水産庁：希少種



## [選定理由]

河川改修工事による生息場所および産卵基質となる川岸の挺水植物群落の消失、および富栄養化による生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 筑後川水系
分布域	南日本, 東限: 淀川上流保津川(太平洋側), 由良川(日本海側)
世界的分布	朝鮮半島南部
生息環境	水の澄んだ流れの緩い河川や水路。
現状	本種が生息するいずれの河川においても個体数は減少している。
備考	

## アオギス

学名	Sillago parvisquamis Gill		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	キス科		
科名学名	Sillaginidae		
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： I A (CR)	水産庁： 絶滅危惧種



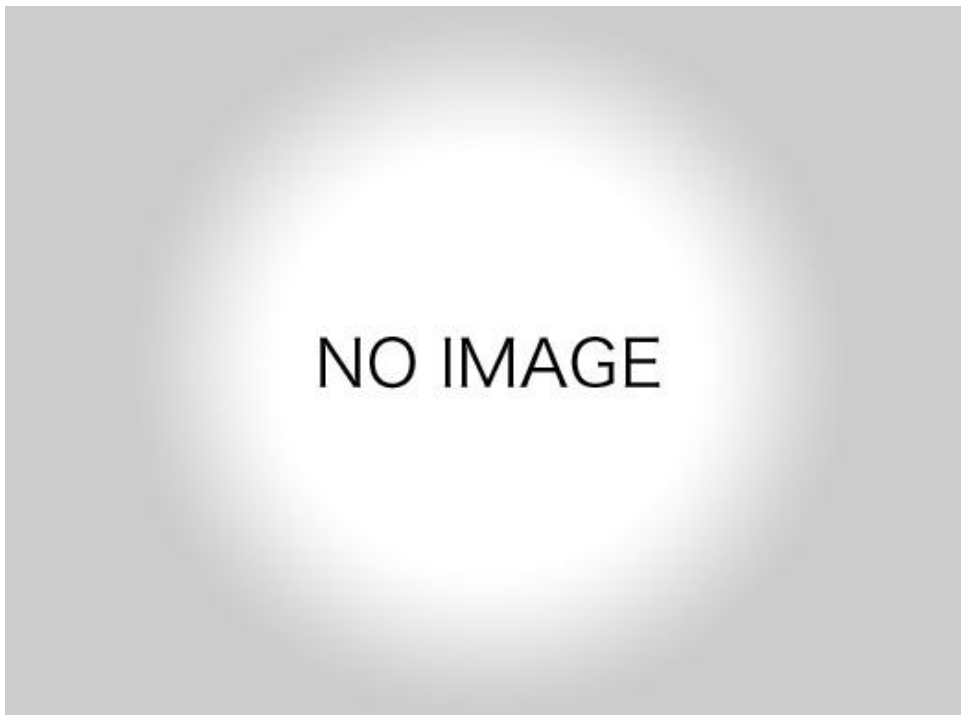
## [選定理由]

県内では限定された海域にのみ生息する。干潟や河口砂底域の消失及び減少などによる生息環境の悪化で絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	周防灘, 別府湾
分布域	吉野川河口, 大分県, 鹿児島県
世界的分布	台湾
生息環境	干潟の内湾
現 状	現在, ある程度まとまった個体数を確認できるのは全国的にも本県のみであるが, 県内においては, ここ数年確認情報が得られなくなった水域もある。
備 考	

## タビラクチ

学名	Apocryptodon punctatus Tomiyama		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：I B (EN)	水産庁：減少種



## [選定理由]

県内分布	(周防灘に注ぐ河川)
分布域	三重県, 和歌山県, 兵庫県, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 高知県, 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県
世界的分布	
生息環境	河口干潟や前浜干潟の軟泥底。
現 状	県内では一部の水域でのみ確認されているが、情報が少なく現在の生息状況や分布は不明である。今後、早急な調査が望まれる。
備 考	テッポウエビ類との共生が示唆されている。日本固有種。

# トビハゼ

学名	Periophthalmus modestus Cantor		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：準(NT)	水産庁：減少種



## [選定理由]

干拓や埋め立て工事による干潟の狭小と餌となる小動物の減少により、生息数の減少が懸念される。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 別府湾に注ぐ河川, 番匠川水系
分布域	東京湾～沖縄島
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾
生息環境	泥質干潟が発達する河口域および内湾。
現状	各生息地とも個体数は減少傾向にある。
備考	

## チワラスボ

学名	Taenioides cirratus (Blyth)		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：Ⅰ B (EN)	水産庁：



## [選定理由]

県内においては一部の水域で生息が確認されているが、その分布状況は断片的である。また本種が好むと思われる生息環境は、護岸・埋め立て工事などの影響を受けやすいため、生息地の減少が懸念される。

県内分布	周防灘に注ぐ河川, 別府湾に注ぐ河川, 番匠川水系
分布域	静岡県～九州
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾, インド・太平洋域
生息環境	河口域や内湾の軟泥中。
現状	本種はその生態的特性上、普段は泥中で生活するため、その生息調査がなされにくい種である。
備考	

## シロウオ

学名	Leucopsarion petersii Hilgendorf	
目名	スズキ目	
目名学名	PERCIFORMES	
科名	ハゼ科	
科名学名	Gobiidae	
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：Ⅱ(VU)
	水産庁：減少傾向：全国的、減少種：西日本の特定河川	



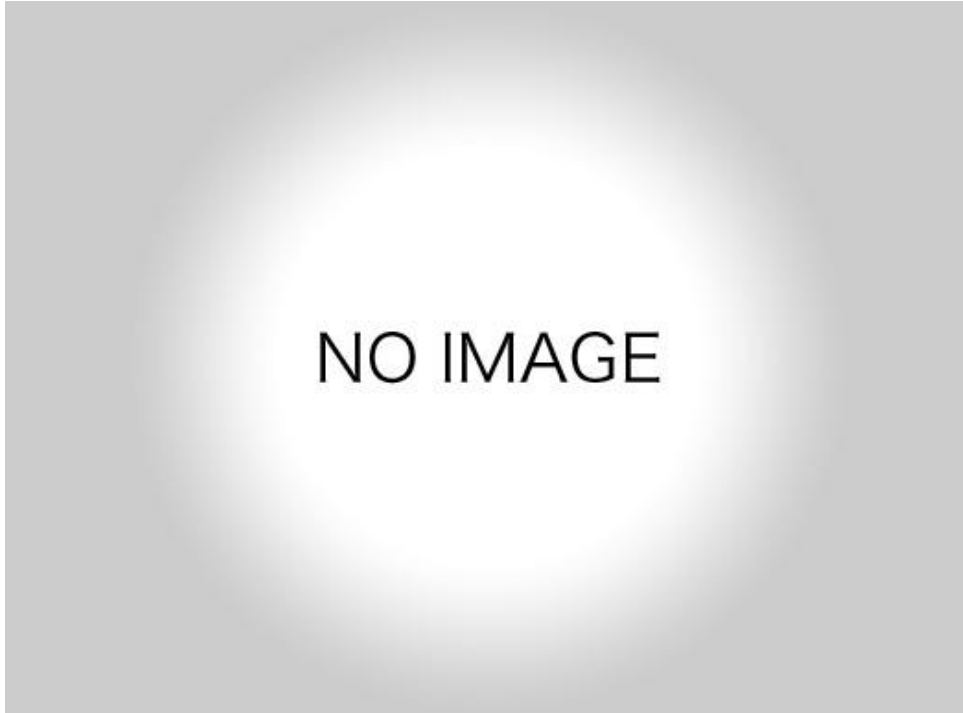
## [選定理由]

通常の生息場所である沿岸域の汚濁や、産卵場所に適した下流域砂礫底の減少など、生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	別府湾に注ぐ河川，番匠川水系，豊後水道に注ぐ河川
分布域	北海道～九州
世界的分布	朝鮮半島
生息環境	内湾浅所に生息するが産卵期には河川に遡上し，感潮域上部付近の砂礫底にある石の下で産卵する。
現 状	漁獲量は以前に比べ減少傾向にある。
備 考	県内では「シラウオ」と呼ばれるため，シラウオ科のシラウオと混同されるが，本種はハゼ科である。

## ネムリミミズハゼ

学名	Luciogobius dormitoris Shiogaki and Dotu		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：情報不足 (DD)	水産庁：



## [選定理由]

県内分布	(佐志生川)
分布域	大分県
世界的分布	
生息環境	小河川の感潮域。
現 状	臼杵市佐志生川の感潮域で採集された完模式標本1個体のみが知られる。その後は採集されていない。
備 考	

# イドミミズハゼ

学名	Luciogobius pallidus Regan		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：準(NT)	水産庁：希少種



## [選定理由]

地下水という特殊な環境に生息するため、水通しのよい砂礫底などが生息条件として必須であり、土砂の堆積や地下水の枯渇などによる、生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	山国川水系、周防灘に注ぐ河川、別府湾に注ぐ河川、番匠川水系、豊後水道に注ぐ河川
分布域	新潟県、静岡県、三重県、和歌山県、兵庫県、広島県、山口県、徳島県、愛媛県、高知県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県
世界的分布	
生息環境	海岸で淡水の湧出しているところや、河川の感潮域にある、水通しのよい砂礫底の地下水
現状	県内の広い範囲に分布するが、確認個体数はどの地点においても少ない。
備考	本種は分類の再検討が必要だとされている。県内で初めて確認されたのは2005年のことである。



## タネハゼ

学名	Callogobius tanegasimae (Snyder)		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：掲載なし	水産庁：

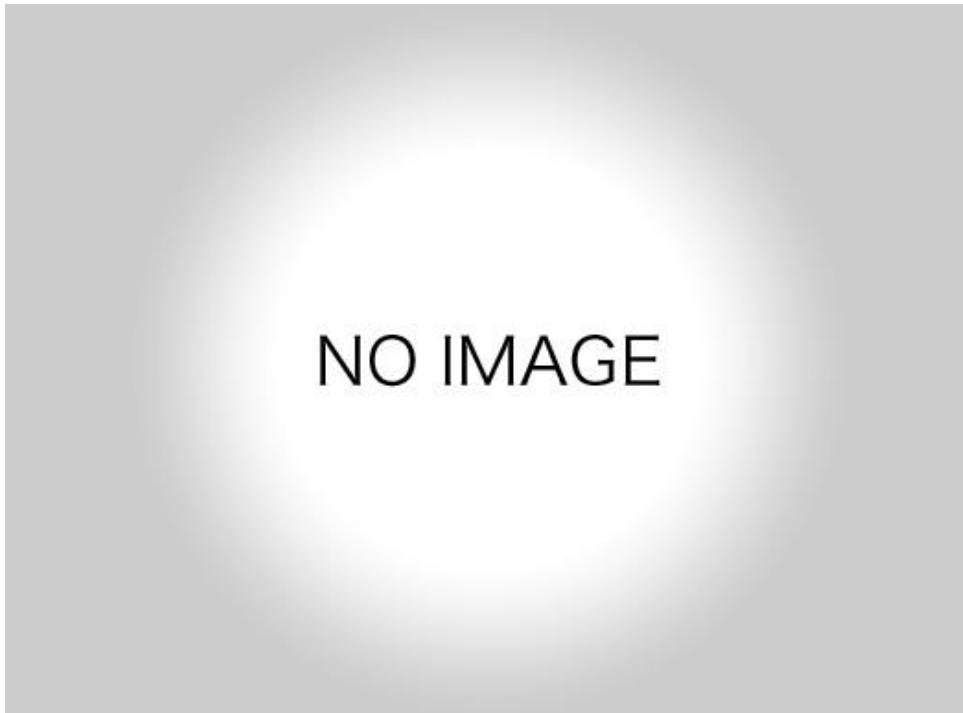


## [選定理由]

県内分布	番匠川水系, 豊後水道に注ぐ河川
分布域	神奈川県, 静岡県, 三重県, 和歌山県, 徳島県, 愛媛県, 高知県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県
世界的分布	台湾, フィリピン
生息環境	河口域の泥底や砂泥底にあるカキ殻や転石の下。
現状	本種は近年になって県内で確認されたが, 南方系の種であり, 地球温暖化の影響で分布域を拡大してきた可能性もある。県内での分布は限られる。
備考	本種が分布域を拡大しているかどうかを確認するためにも, 継続的な調査が必要と思われる。

# キセルハゼ

学名	Gymnogobius cylindricus (Tomiyama)		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省： I A (CR)	水産庁：



## [選定理由]

河口・沿岸域の護岸工事や干潟の埋め立てなどにより失われた生息地が多くなり、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	周防灘に注ぐ河川, 別府湾に注ぐ河川
分布域	愛知県, 三重県, 兵庫県, 岡山県, 広島県の瀬戸内海, 佐賀県の有明海に面した地域, 大分県
世界的分布	
生息環境	河口に隣接する前浜干潟。
現 状	本種はこれまで愛知県, 三重県, 兵庫県, 岡山県, 広島県の瀬戸内海, 佐賀県の有明海に面した地域から生息情報があったが, 近年本県においても本種の生息が確認された(乾, 私信)。
備 考	日本固有種

## エドハゼ

学名	Gymnogobius macrognathos Bleeker		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省： II (VU)	水産庁：



## [選定理由]

河口・沿岸域の護岸工事や干潟の埋め立てなどにより失われた生息地が多くなり、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 大野川水系, 別府湾に注ぐ河川, 番匠川水系
分布域	宮城県～宮崎県にかけての太平洋岸, 兵庫県の日本海, 兵庫県～大分県の瀬戸内海, 福岡県の有明海に面した地域
世界的分布	ロシア沿海州のプュートル大帝湾, 渤海, 黄海
生息環境	河口干潟, 河口に隣接する前浜干潟。
現状	近年の県下における生息情報は数例しかない。
備考	

# チクゼンハゼ

学名	Gymnogobius uchidai (Takagi)		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： II (VU)	水産庁：



## [選定理由]

河口・沿岸域の護岸工事や干潟の埋め立てなどにより失われた生息地が多くなり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川, 大野川水系, 別府湾に注ぐ河川, 番匠川水系
分布域	北海道～宮崎県にかけての太平洋岸, 兵庫県, 徳島県, 愛媛県, 福岡県, 長崎県, 大分県, 鹿児島県
世界的分布	
生息環境	砂底・砂泥底の河口干潟。
現状	過去の生息確認水域とは別水系の河口域において, 新たに生息情報が得られた。
備考	日本固有種

# クボハゼ

学名	Gymnogobius scobiculatus (Takagi)		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県： I B(EN)	環境省： I B(EN)	水産庁：



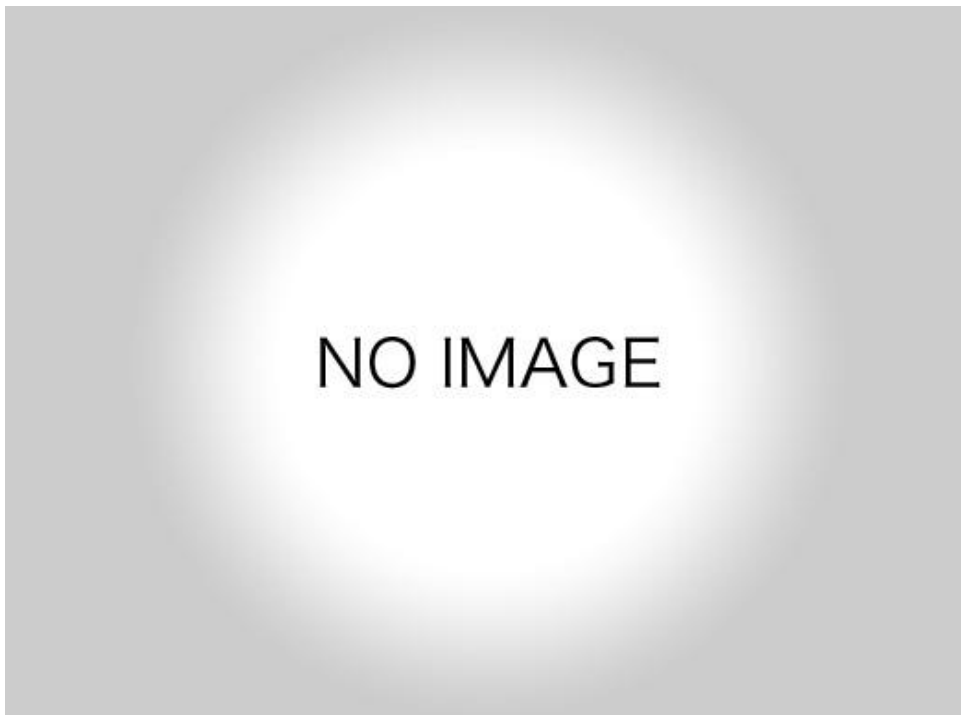
## [選定理由]

河口・沿岸域の護岸工事や干潟の埋め立てなどにより失われた生息地が多くなり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	周防灘に注ぐ河川，大分川水系，大野川水系，番匠川水系，豊後水道に注ぐ河川
分布域	福井県，三重県，和歌山県，兵庫県，山口県，愛媛県，高知県，福岡県，大分県，宮崎県，鹿児島県，対馬，五島列島
世界的分布	
生息環境	表層に泥がたまる礫底の河口域。
現状	過去の生息確認水域とは別の水域において，新たに生息情報が得られた。
備考	日本固有種

## シラヌイハゼ

学名	Silhouettea dotui (Takagi)		
目名	スズキ目		
目名学名	PERCIFORMES		
科名	ハゼ科		
科名学名	Gobiidae		
カテゴリー	大分県：情報不足 (DD)	環境省：情報不足 (DD)	水産庁：



## [選定理由]

県内分布	山国川水系, 周防灘に注ぐ河川
分布域	青森県, 新潟県, 神奈川県, 福岡県, 有明海, 大分県
世界的分布	
生息環境	内湾の砂底。
現 状	県北部の前浜干潟より生息情報があるが, 県内全体における分布状況など不明な点が多く, 今後, 詳細かつ継続的な情報収集が必要と思われる。
備 考	

## クロコハゼ

学名 Drombus sp.

目名 スズキ目

目名学名 PERCIFORMES

科名 ハゼ科

科名学名 Gobiidae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし 水産庁：



## [選定理由]

県内分布	番匠川水系
分布域	神奈川県, 静岡県, 三重県, 和歌山県, 愛媛県, 高知県, 長崎県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県
世界的分布	台湾
生息環境	河口域の泥底や砂泥底にあるカキ殻や転石の下。
現状	本種は近年になって県内で確認されたが, 南方系の種であり, 地球温暖化の影響で分布域を拡大してきた可能性もある。番匠川水系でのみ確認されている。
備考	本種が分布域を拡大しているかどうかを確認するためにも, 継続的な調査が必要と思われる。

# ナメクジウオ

学名	Branchiostoma belcheri Gray		
目名	両尖目目		
目名学名	AMPHIOXI		
科名	ナメクジウオ科		
科名学名	Branchiostomidae		
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省：掲載なし	水産庁：危急種



## [選定理由]

県内では一部の限られた海域のみに生息するが、近年、港湾整備工事などの影響で、絶滅に瀕している。

県内分布	周防灘, 別府湾
分布域	房総半島周辺以南から鹿児島県までの瀬戸内海を含む太平洋岸
世界的分布	インド洋, 西太平洋の暖水域浅海
生息環境	泥分をほとんど含まない粗い砂でできた遠浅の海域。
現 状	県内では中津市沖, 国東海岸沖, 別府市関の江海岸で確認されている。
備 考	